

平成 14 年度兵庫県立健康環境科学研究センターセミナープログラム

平成 14 年 12 月 20 日 (金)

午後 1 時～4 時 30 分

兵庫県民会館 9 階 けんみんホール

開会挨拶

13 : 00～13 : 10

兵庫県立健康環境科学研究センター所長 川村 隆

特別講演

13 : 10～14 : 20

生態系における微量金属の役割とその分析技術の進歩

名古屋大学大学院工学研究科

教授 原口紘丞

(座長 : 所長 川村 隆)

21 世紀は環境の時代と言われています。この環境の時代とは、これまで人間が地球資源を過剰に採掘し、地球生態系を破壊してきたことによって、その生存が危うくなってきたための自省の言葉です。これからは生態系の修復と持続可能な利用を真剣に考える必要があります。そのための課題である自然と人間と科学技術の共生について、自然と人間の健康における微量金属役割を中心に、化学の立場から考えてみたい。

一般講演

14 : 20～14 : 40

PCB 廃棄物に関する現状と今後

安全科学部 松村千里

(座長 : 安全科学部長 吉岡昌徳)

平成 13 年 7 月 15 日に「PCB 廃棄物の適正な処理に関する特別措置法」が施行された。このなかに、平成 28 年までに PCB を含む廃棄物の処理を完了することが盛り込まれている。現在の PCB 廃棄物の形態や保管量、および今後の処理に関する展望と問題点について述べる。

14 : 40～15 : 00

兵庫県における酸性雨及び酸性霧の化学

大気環境部 藍川昌秀

(座長 : 大気環境部長 玉置元則)

兵庫県ではろ過式採取法により県下 5 地点で、また降水時開放型採取法により県下 3 地点で降水の採取・分析を行ってきた。また、霧についてもアクティブ型自動霧水採取装置により六甲山で採取・分析を行っている。本発表では雨及び霧の化学的特徴並びに pH 及び主要無機イオンの濃度・沈着量の経年変化について報告する。

15 : 00～15 : 10

(休憩)

15 : 10～15 : 30

ノーウオーク様ウイルス (NLV) によるウイルス性食中毒の疫学

感染症部 近平雅嗣

(座長 : 感染症部長 増田邦義)

冬季の食中毒の主要な原因ウイルスである NLV は、小中学校や老人ホームなどでも冬季を中心に集団嘔吐下痢症を起こすが、これらの事例では感染経路が解明されることは少ない。感染事例から検出したウイルス遺伝子の塩基配列や患者の発生状況などを比較検討することで、NLV は多様な感染経路を有することが明らかになった。

15 : 30～15 : 50

兵庫県下に流通する農産物及び輸入冷凍野菜中の農薬残留実態調査

健康科学部 秋山由美

(座長 : 健康科学部長 寺西 清)

当センターで開発した多成分一斉分析法を用いて、1995 年度から 2001 年度までの 7 年間に実施した農産物 1092 検体 (国内産 701、輸入品 391) の調査結果及び 2002 年度に実施した中国産冷凍野菜の調査結果を報告する。調査対象農薬数は年々増加し、2002 年度は 232 種 (基準あり 164、基準なし 68) であった。

15 : 50～16 : 10

水道原水中フェノール濃度の経時変化

水質環境部 山本 淳

(座長 : 水質環境部長 谷本高敏)

水中のフェノールは細菌分解を受けやすい。上水試験方法では、フェノールの分解防止剤として、蒸留直前の硫酸銅添加を明記している。当部での上水試験は兵庫県下の水道事業所を対象としているが、採水から搬入までに数時間を要する場合もあり、搬入中のフェノール分解が懸念される。そこで水道原水中フェノール濃度の経時変化を検討した。

16 : 10～16 : 30

企画情報部における危機管理体制

企画情報部 辻 正彦

(座長 : 企画情報部研究主幹 荒木万嘉)

平成 14 年度から企画情報部が危機管理の対応窓口となった。4 月に日本海での AIGE 号からの重油流出事故、6 月に篠山市でのフェノール流出事故に伴う水道水汚染が起り、対策本部等が設置される事態となった。これらの危機事例を経て、出来る箇所から対応の改善に取り組んだ。

平成 14 年度兵庫県立健康環境科学研究センターセミナー参加申込書

| 所 属 (TEL) | 職 名 | 氏 名 |
|-----------|-----|-----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

参加申込み及び問合わせ先

兵庫県立健康環境科学研究センター 企画情報部長 辻 正彦

〒 652-0032 神戸市兵庫区荒田町 2 丁目 1 番 29 号

TEL : 078-511-6740

FAX : 078-531-7080

E-mail: m-tsuji@iph.pref.hyogo.jp